

日本のプロゴルフ界が一変！ 一昔前なら 考えられなかったようなことが起きています！！

超高齢化社会に突入し、少子高齢化問題で、国内の自動車業界はもろろん、ゴルフ業界も将来が心配されています。一方で、そんな不安を吹き飛ばすかのように、ゴルフ界は一気に世代交代が進み、女子プロも男子プロもZ世代の選手達がツアーでトップ争いを繰り広げています。果たしてゴルフの未来はどうなっていくのか。日本ゴルフ協会常務理事でゴルフキャスターとしても馴染みの戸張捷さんと、オープンコンペの「愛車人カップ」を主催するほど「ゴルフが大好きなカーコンビニ倶楽部」の林成治社長が熱く語り合いました。



ゴルフトーナメントプロデューサー

戸張 捷 Shou Tobaru

1945年生まれ。東京都出身。ゴルフトーナメントのプロデューサー、ゴルフコースの設計・監修、ゴルフクラブ運営のコンサルティングなどを手掛ける。ゴルフキャスターとしても活躍。1986年 株式会社ランダムアソシエイツ設立、代表取締役就任。また公益財団法人 日本ゴルフ協会常務理事、一般社団法人 日本ゴルフトーナメント振興協会理事 国際委員会 委員長でもある。

選手以来、95年ぶりとなるアマチュア優勝の快挙だと話題になったので、よく憶えています。ここ数年、日本人選手がアマチュアで世界のトップを独占し続けているのですから、MLBでホームランキングになった大谷翔平選手のように、一昔前なら考えられなかったことがゴルフ界でも起きていますね。

林 日本のプロゴルフ界は一変しましたね。男子プロも女子プロも、どちらもあつという間に世代が大きく入れ替わっています。

戸張 劇的な変わりようですね。男子のプロゴルフ界は、金谷拓実プロ、中島啓太プロ、蟬川泰果プロの3選手が、昔で言えば、ジャンボ尾崎、青木、中嶋がトップに君臨した時代のよう

うに、日本のゴルフ界の主流になろうとしています。しかも、中谷プロは20代半ば、中島プロも蟬川プロも20代前半のZ世代。ちよつと前までは学生アマチュアで大活躍していた選手ばかりです。

林 そこに、昨年のダンロップフェニックスにアマチュアで参戦し、松山英樹プロを逆転して優勝した杉浦悠太選手が割って入ってきて、ますます面白くなって来ました。

戸張 杉浦選手も22歳ですからね。しかも、この4選手に共通

しているのは、いずれもアマチュア時代に活躍しているんです。金谷選手は2019年に松山英樹以来、日本人2人目となる世界アマチュアランキング1位になっていますし、中島選手も翌年、男子アマチュアの世界ランキング1位になっていて、プロ2年目で賞金王に輝いています。

林 蟬川選手も22年に世界アマチュアランキングで1位になっていますよね。その年にアマチュアで「日本オープン」を勝ちましたよね。第1回大会の赤星

戸張 女子のプロゴルフ界も同じようなことが起きています。22歳の山下美夢有プロが賞金ランキングトップで、ランキング2位の岩井明愛プロは21歳、4位は25歳の小祝さくらプロで、5位は21歳の岩井千怜プロです。20代そこそこの選手達が賞金ランキングの上位をガッチリ独占していて、畑岡奈紗選手（24歳）のように全米女子ツアーで活躍する選手も登場しています。そんな時代になっているんです。

林 畑岡奈紗選手は、19歳で米

ツアーに優勝して日本勢最年少記録を打ち立てましたよね。

戸張 ミツアーです。6勝を挙げています。昔で言えば、樋口久子が全米女子オープンで優勝し、岡本綾子が賞金王をとつてから、宮里藍以来、ずいぶん間が開きましたが、ここに来て波野日向子選手、畑岡奈紗選手など、続々とメジャーで活躍し、なおかつ優勝の可能性を期待させてくれる選手が出てきています。

した。なぜ、二十歳そこそこのツアー優勝をする選手が次々と現れるのでしょうか。

戸張 それには3つの理由があると思います。1つは、幼少期からゴルフに慣れ親しんで育つた環境です。私は、ゴルフが大好きだった父の影響で、10歳で初めてゴルフのクラブを持ちました。金谷拓実プロは5歳で、中島啓太プロは6歳からゴルフを始めたそうですし、蟬川プロに至っては1歳でゴルフを始めたと言っていますから驚いてしまいます。

林 私は、母のお腹の中にいた頃からゴルフに親しんでいました。母は北海道のゴルフ場のキャディーさんでしたから（笑）。



カーコンビニ倶楽部 代表取締役社長

林 成治 Seiji Hayashi

Z世代のプロがトップに ひしめく3つの理由とは

戸張 2つ目の理由は、子供の頃から海外で生活していることが挙げられると思います。幼少期からゴルフに慣れ親しんできた金谷選手や中島選手は、オーストラリアで育ち、ゴルフの英才教育を受けていますからね。

林 だから、英語もペラペラなんです。海外のコースは難コースが多く、それに慣れていたことも、日本のトーナメントで勝つことが比較的簡単になっている理由の一つなのかもしれません。3つ目は、マスターズで優勝した松山英樹選手や、MLBの選手たちが憧れる大谷翔平選手のように、日本のアスリートが世界で活躍することが当たり前のようになっていることです。世界的なトーナメントで日本のゴルフアスリートが優勝できることを、選手たちが実感として持ち始めているのだと思います。

車とゴルフは相思相愛

林 これからのプロゴルフ界に期待が膨らみますね。でも一方で、一般の人たちがプレーを楽しんでいるゴルフに目を向けると、団塊の世代がすべて75歳以上になって、日本が超高齢化社

会に突入する2025年問題という大きな障壁があります。これまでゴルフを頻繁に楽しんできた層が激減してしまうかもしれないのです。しかも、新生児の出生数は、22年が約78万人で、23年は72万人程度。20年前には1800万人もいた20代の人たちが、20年後には800万人程に半減してしまいます。ゴルフ業界は、ゴルフを衰退させないためにどう動こうとしているのでしょうか。

戸張 ゴルフは、バスケット選手、テニス選手、野球選手など、あらゆるアスリートも楽しむことができますし、老若男女誰でもプレーを楽しみながらコミュニケーションも図れる奥の深いスポーツです。どんな人でも、どんなアスリートでも巻き込める魅力がある。Z世代も新しいスタイルでゴルフの世界に流れ込んできています。だから、ゴルフ自体の心配はしていませんね。

林 ゴルフはユニバーサルジョイント、自由自在なスポーツですからね。車とゴルフも相性が良い。車とゴルフを愛する人のためのオープンコンペ「愛車人カップ」の人気の高いのも、相思相愛だからなんです（笑）